

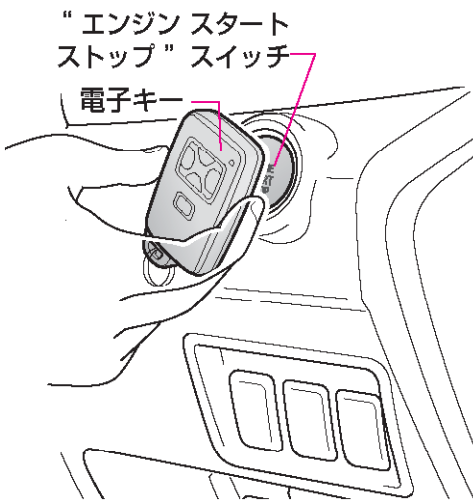
電子キーが正常に作動しないときは

電子キーと車両間の通信がさまたげられたり、電子キーのバッテリーが切れたときは、スマートエントリー & スタートシステムが使用できなくなります。

● “エンジン スタート ストップ” スイッチの切り替え方 ■

“エンジン スタート ストップ” スイッチに電子キーのⓉ (トヨタマーク) のある面で触れることで、スイッチの切り替えが可能になります。

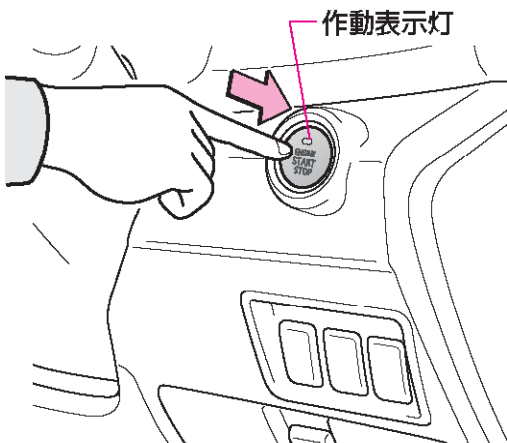
➡.262ページの「“エンジン スタート ストップ” スイッチの切り替え方」を併せてお読みください。



1 ブレーキペダルを踏みます。

2 電子キーのⓉ (トヨタマーク) のある面で“エンジン スタート ストップ” スイッチに触れます。

電子キーを認識すると、ブザー音が鳴り、作動表示灯が緑色に点灯します。



3 電子キー認識後、約5秒以内にすべてのペダルから足を離して、“エンジン スタート ストップ” スイッチを押します。

“エンジン スタート ストップ” スイッチを押すごとに、スイッチが

アクセサリモード⇒イグニッション ONモード⇒OFF

の順に切り替わります。

 知識

“エンジン スタート ストップ” スイッチの切り替えについて

- いったん “エンジン スタート ストップ” スイッチをOFFにすると、スイッチを押してもスイッチの切り替えができません。もう一度はじめから操作してください。
- 電子キー認識後、約5秒以上たってから “エンジン スタート ストップ” スイッチを押しても、スイッチは切り替わりません。もう一度はじめから操作してください。
- “エンジン スタート ストップ” スイッチに触れるスイッチの切り替えは一時的な処置です。電池が切れたときはただちに電池の交換をおすすめします。（▶.464ページ参照）

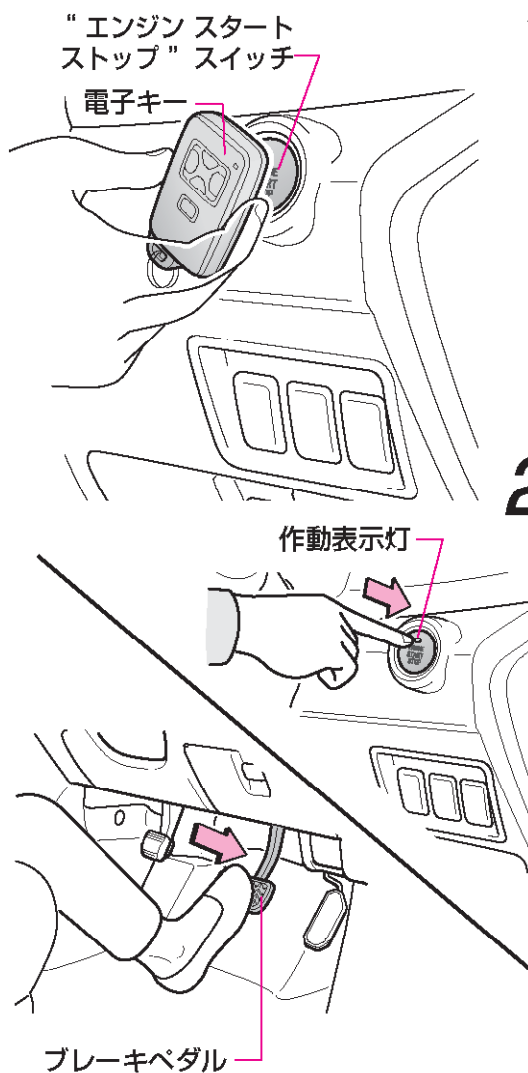
“エンジン スタート ストップ” スイッチ切り替え時の警報について

“エンジン スタート ストップ” スイッチ切り替え時に、いずれかのドアを開閉すると、警報が鳴りますが異常ではありません。

● エンジン始動のしかた

“エンジン スタート ストップ” スイッチに電子キーのⓉ (トヨタマーク) のある面で触れることで、エンジンの始動が可能になります。

➡.265ページ「エンジン始動・停止のしかた」を併せてお読みください。



1 ブレーキペダルをしっかりと踏みながら、電子キーのⓉ (トヨタマーク) のある面で“エンジン スタート ストップ” スイッチに触れます。

電子キーを認識すると、ブザー音が鳴り、作動表示灯が緑色に点灯します。

●作動表示灯が緑色に点灯していないと、エンジンは始動しません。

2 電子キー認識後、約5秒以内にブレーキペダルを踏んだまま“エンジン スタート ストップ” スイッチを押します。

●ブレーキペダルをいっぱいまで踏み込まないと、エンジンが始動しないようになっています。

●エンジンが始動すると、作動表示灯は消灯します。

●完全にエンジンが始動するまでブレーキペダルを踏み続けてください。

●エンジンが始動しない場合は、ブレーキペダルを踏まずに“エンジン スタート ストップ” スイッチを押して、一度スイッチをOFFにしたあと、もう一度、手順1からやり直します。このときブレーキペダルが重くなる場合がありますが、その際には通常よりも強くペダルを踏んでください。

■ エンジン停止のしかた

通常のエンジンの停止のしかたと同様です。(➡.267ページ参照)

 知識

エンジンの始動について

- 電子キー認識後、約5秒以上たってから“エンジン スタート ストップ”スイッチを押しても、エンジンは始動しません。もう一度はじめから操作してください。
- “エンジン スタート ストップ”スイッチに触れるエンジンの始動方法は一時的な処置です。電池が切れたときはただちに電池の交換をおすすめします。（➡.464ページ参照）

エンジン始動時の警報について

エンジン始動時に、いずれかのドアを開閉すると、警報が鳴りますが異常ではありません。